

【一葉の魅力⑫「日本最先端」の独自授業〈1〉】「新しいことをしているので教科書はありません」 これからは「偏差値」など既存の基準が関係ない時代に講義「薬学データサイエンスへの招待」が始まりました

2025/4/9公開



「新しいことをしているので教科書はありません」

第一薬科大学で9日、新入生を対象にした講義が始まり、このうち薬学部薬科学科の学生が受けた「薬学データサイエンスへの招待」で、この講義を担当する有馬英俊教授はそう断言しました。

2022 年に開設した薬科学科の知名度はまだまだですが、潜在性を秘めた本学期待の学科。この科目では今後、有名大学や大手製薬会社、大手 IT 企業などの講師陣らが対面やオンラインで講義し、医療や薬学に AI を導入した「いま、そして未来」を伝えます。

初回は主に次のような内容でした。

▽政府が提唱する仮想空間と現実空間を融合させた未来社会のコンセプト「ソサイエティ 5.0」の紹介。「マイナ保険証」など、デジタル技術を活用して医療サービスの効率化や質の向上を図る取り組みである「医療DX」もその一部。

▽1950 年代に始まった第一次から第三次、そして現在に至る「AI ブーム」。昨年のノーベル賞は、物理学賞や化学賞のいずれも AI の研究者らが受賞した「AI 祭り」だった。

▽コストと時間がかかりすぎる創薬は AI の導入で効率化できる。

▽発達障害のひとつである「ADHD」の治療を目指したゲームなど「治療アプリ」が次々に誕生している。

「こんなふうに世の中が進んでおり、医療や創薬に新しい技術が入ってきている」と有馬教授。そのうえで「薬学に加えて化粧品やデータの知識を学べば、まさに“鬼に金棒”。すごい人材になれます。もう偏差値など既存の評価基準は関係ありません」と、学生らを励ました。

今後の講師陣の紹介もありました。「私も聴きたいので…」と、有馬教授は聴講側にまわるそうです。学生のひとりが「面白そう!」と感動した様子で声を出すと、有馬教授は即座にこう応じました。

「面白いよー。他ではやっていないことを第一薬科大学ではやっているんだから」